

鳥取・岡山両県知事会議

鳥取県スライド集

- ① 移住定住の促進
- ② 里山活性化の推進（実践者の出会いの場）
- ③ 「とっとり・おかやま新橋館」での連携について
- ④ EVドライブ観光の促進とEV普及促進について
- ⑤ 「鳥取・岡山広域観光協議会」における取り組み
- ⑥ 海外誘客における取り組み
- ⑦ 高速道路ネットワーク等の整備促進
- ⑧ 危険ドラッグ対策について
- ⑨ 「あいサポート運動」への共同参画

① 移住定住の促進

○全国各自治体が移住の取組を強化する中、鳥取・岡山両県が移住先として選ばれるため、**両県が東になり“西日本”“東中国”での暮らしの魅力**を情報発信する。

- ・対象 両県に目が向いていない都市住民
- ・期待する効果 連携による相乗効果 → 両県に目が向く都市住民の増 → 移住定住者の増

<例①> 移住相談会・セミナーの継続開催

今月末に開催する相談会・セミナー

TURNΣ × 鳥取県 地方暮らしフェア in とっとり・おかやま新橋館

地方暮らしに関心のある方を対象に、移住相談会と地方での「子育て」「しごと」をテーマにし、セミナー「TURNΣカフェ」を開催します。ご興味のある方はぜひこの機会にご参加ください。

開催日 平成27年1月31日(土)

会場 アンテナショップ
「とっとり・おかやま新橋館」2階

この機会に
ぜひ!

【所在地】東京都港区新橋1-11-7

たくさん先輩移住者に相談できます!!

鳥取県内の市町村担当者、岡山県担当者に相談できます!!

お子様連れ歓迎!! 託児スタッフをご利用できます。



<例②> 地方暮らし魅力発見ツアーの実施

鳥取空港

鳥取県の特徴ある子育て環境
(例) 森のようちえん 体験入園



岡山県の特徴ある起業環境
(例) 森の学校 見学

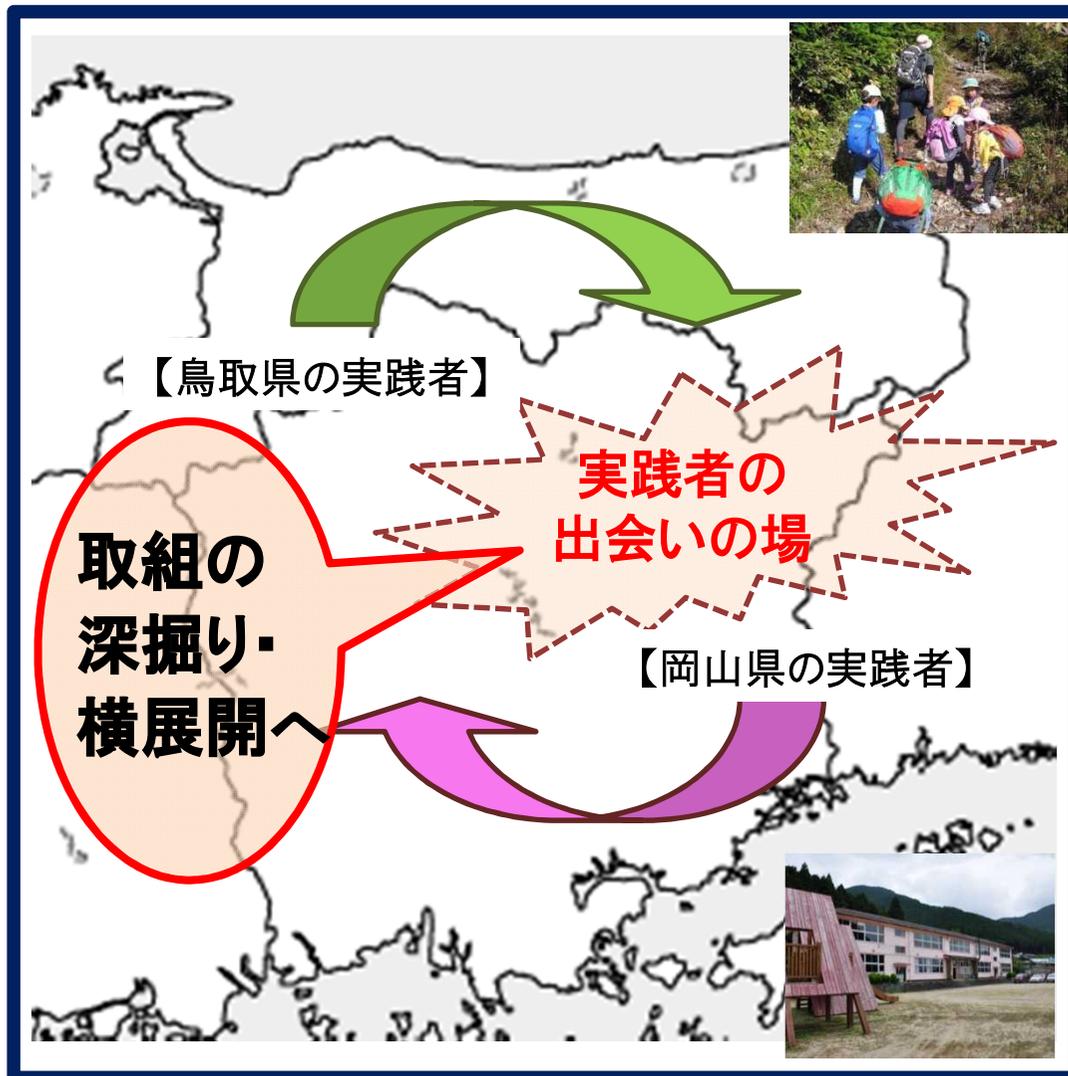


岡山空港

②里山活性化の推進（実践者の出会いの場）

<提案>

両県の里山活性化のモデル実践者が事例発表、意見交換を行う出会いの場を相互に設定



里山資本主義フォーラム in 日南(H26.11.15)



<参加者の声>

- ・里山を活用した取組を実践したい
- ・里山の自然と共存して心豊かに生きていきたい
- ・里山活性化モデルの実践者、他県の具体的な事例の話を知りたい

③鳥取県・岡山県共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」

<平成26年9月28日(日)オープン>

岡山県と連携し、相乗効果を狙う！—地方創生の鍵—

- 情報発信—連携による注目度・魅力度アップ
- 販路開拓—首都圏事業者へ食材・加工品等を紹介
- 認知度向上—催事スペースの有効活用

※入館者数:オープン3か月で約15万人

ニックネームは
「ももてなし」



<1階 物販店舗>
週末には2,000人前後の人が訪れます



<観光・移住コーナー> 観光や移住などに関する相談に対応します。開架したパンフレットは好評。



<オープン日9/28> 入店を待つお客様



<両県プロモーションゾーン> 県内事業者による活用—消費者の声を参考にします—



<2階 催事スペース>
11/5 ウェルカニキャンペーン



11/7 ももてなし試食会—カニ汁(鳥取)やぶどう(岡山)など両県の特産品を提供—

④鳥取岡山EV・PHV普及促進プロジェクト

- エコツーリズムやグリーンツーリズムなど環境に配慮した観光客の受入体制の整備に併せて、e-モビリティ等の普及促進を図り、**電欠の不安を感じないインフラ整備**を目指す。
- 鳥取県に配備されている充電器は計110基。うち**急速充電器は、人口比で全国トップ**。
[充電インフラ整備ビジョン2020年目標値:527基 ⇒ 114基(2014年11月末現在)] ※急速充電:41基
- 鳥取・岡山**両県連携による「中国横断EVエコドライブ・グランプリ」**開催により、県内外に**両県の優れたEV走行環境をアピール**するとともに、**自然環境・観光資源を情報発信**する。

中国横断EVエコドライブ・グランプリ

[日時] 10月12日(日)9:00~
[参加者] 両県合わせて合計40組(約120名)

- 参加者が充電しながら観光地をエコドライブ
- 電費と観光地の立ち寄り数で上位入賞者を表彰

両県の観光誘客促進に向けEV走行環境をPR



蒜山大山EV・PHVエコドライブ・グランプリ

- 全長約100^{km}程度の周回コースに変更
- 参加車両に、EVに加え、PHVを対象に追加。
- EVは電費、PHVは燃費を競うエコドライブイベント。

(コース例)



周回約100^{km}



⑤ 「鳥取・岡山広域観光協議会」における取り組み

「大山開山1300年」→両県で連携した取り組みを検討

大山



歴史・自然の魅力

「エコツーリズム」

豊かな自然環境、歴史文化遺産、食材など、両県の地域資源を活かしたプログラムを通して両県の魅力をより深く観光客に伝える、エコツーリズムの推進。

「牛馬市」

「大山牛馬市」は日本三大牛馬市の一つとされ、岡山県北部からも参加者がいたほか、最盛期には2万頭の取引を行い日本最大といわれている。



大山寺博労市図
広重画
(鳥取県立博物館所蔵)

蒜山



< 連携した取組例 >

「とっとり・おかやま新橋館」・
「高速道路サービスエリア」を活用



「エコツーリズム」の展開



「鳥取・岡山ドライブマップ」の作成・
「両県観光連盟ポータルサイト」を活用



⑦岡山・鳥取 高規格幹線道路図



ここから2kmの間一般道
走行注意
原付・自転車通行あり

⑧危険ドラッグ撲滅への規制・気運醸成（鳥取県）

サイバーチェックによる 薬物指定等

- ・知事指定薬物（4物質）
- ・知事指定候補薬物（52製品）



広報・啓発の強化

～「危険ドラッグは違法」メッセージ
の発信～

- ・県政広報を活用した各種啓発
（県政TV番組、スポットCMほか）
- ・啓発チラシの配布
- ・危険ドラッグ撲滅スローガン（標語）の募集
- ・オリジナル啓発DVDの制作
→自動車教習所、免許センター等での活用へ

監視パトロールの実施

雑貨店、レンタルビデオ店、アダルトショップ、ラブホテル、ネットカフェ、カラオケ店など。

（警察と合同、又は危険ドラッグ対策専門員（県警OB）を中心に）

周辺府県との連携

～広域的な規制強化・連携による危険ドラッグの流入阻止～

- ・関西広域連合における取組
→国への提言、府県民へのアピール、指定薬物等検出製品の情報共有、合同研修会の実施等
- ・中国地方知事会における取組
→国への共同アピール実施
- ・兵庫・鳥取両県の連携
→条例の規制内容の情報共有等

⑨ 「あいサポート運動」への共同参画

あいサポート運動とは(平成21年11月に鳥取県でスタート) ～障がいを知り、共に生きる～

多様な障がいの特性、困っていること、必要な配慮などを理解し、障がいのある方に対してちょっとした手助けや配慮を実践し、障がいのある方が暮らしやすい地域社会(共生社会)を県民とともに作る運動

DVDや小冊子を使用し、障がいについて、

- ①「その内容や特性」、
 - ②「障がいのある方が日常生活で困っていること」、
 - ③「ちょっとした手助けや配慮の方法」の三つを知ってもらい、実践していただく、あいサポーターを養成。
- ※研修時には、日常で使う簡単な手話も学びます。



あいサポートバッジ



D 障
V が
D とい
と い
小 理
冊 解
子



5年間運動を推進

他県等との連携

島根県
(H23.3.14)



広島県
(H23.12.11)



長野県
(H25.7.1)



奈良県
(H25.8.6)



韓国江原道
(H26.10.4)



埼玉県富士見市・
三芳町(H26.10.16)



あいサポーター数: 236, 640人 / 研修実施回数: 2, 114 回 / 企業・団体認定数: 845企業・団体 (H26.11月末)

【他県等と連携するメリット】(共生社会実現は障がい者施策の共通の目標)

- 同じマークや理念を共通することで県民に対し、わかりやすく、メッセージ性のある施策となっていく。
- 障がい理解施策の一つのツールとして連携することで、これまで取り組んできた普及啓発の広がりを期待。
- 平成28年4月施行の障害者差別解消法の推進メニューの一つとして取り組むことで共生社会実現に寄与。

【今後の他県等との連携状況】

- 山口県があいサポート運動推進のための経費を平成27年度当初予算要求中
- 埼玉県和光市では「和光市障害者計画」にあいサポーター等の導入を明記し、連携に向け準備中
- 埼玉県秩父市では、秩父市障がい者福祉計画に、あいサポート運動の推進を盛り込む予定
また、秩父圏域の1市4町(横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町)に対し秩父地域一体での取組を提案中